

たねがしまほうまんじんじゃ お た う え ま つ り
種子島宝満神社の御田植 祭

【所 在 地】熊毛郡南種子町^{くまなが}茎永
【種 別】国指定無形民俗文化財
【指定年月日】平成28年3月2日



船田での御田植舞

宝満神社の御田植祭は、熊毛郡南種子町茎永に鎮座する宝満神社で行われる行事で、古くから神米としてきた、赤みを帯びた米の苗を神田に植えて豊作を祈願する。

神田に隣接した自然の小高い山での祈祷で授かった苗を植えており、我が国の稲作に関わる農耕行事の変遷や意義を理解する上で、重要である。毎年4月3日に茎永の区民や氏子によって継承されている。

【参考】

御田植祭は、今でも古い形を残しており、「苗取りの儀」、「苗取り（苗取り拍子を歌う）」、「お田の森の祭事（降神の儀、お苗授けの儀、昇神の儀）」、「オセマチで赤米の御田植（御田植え歌を歌う）」、「周辺のお田での御田植え（御田植え歌を伴う）」、「船田での御田植えの舞（御田植え歌を伴う）」、「ナオライ（直会）」、「マブリ（社人が役人及び氏子総代等を慰労する儀式）」の順に行われる。なお、御田植えは御田植え歌に合わせて、男子だけで行われる。

- ・県指定無形民俗文化財（平成11年3月19日指定）
- ・県内の国指定の重要無形民俗文化財 8件